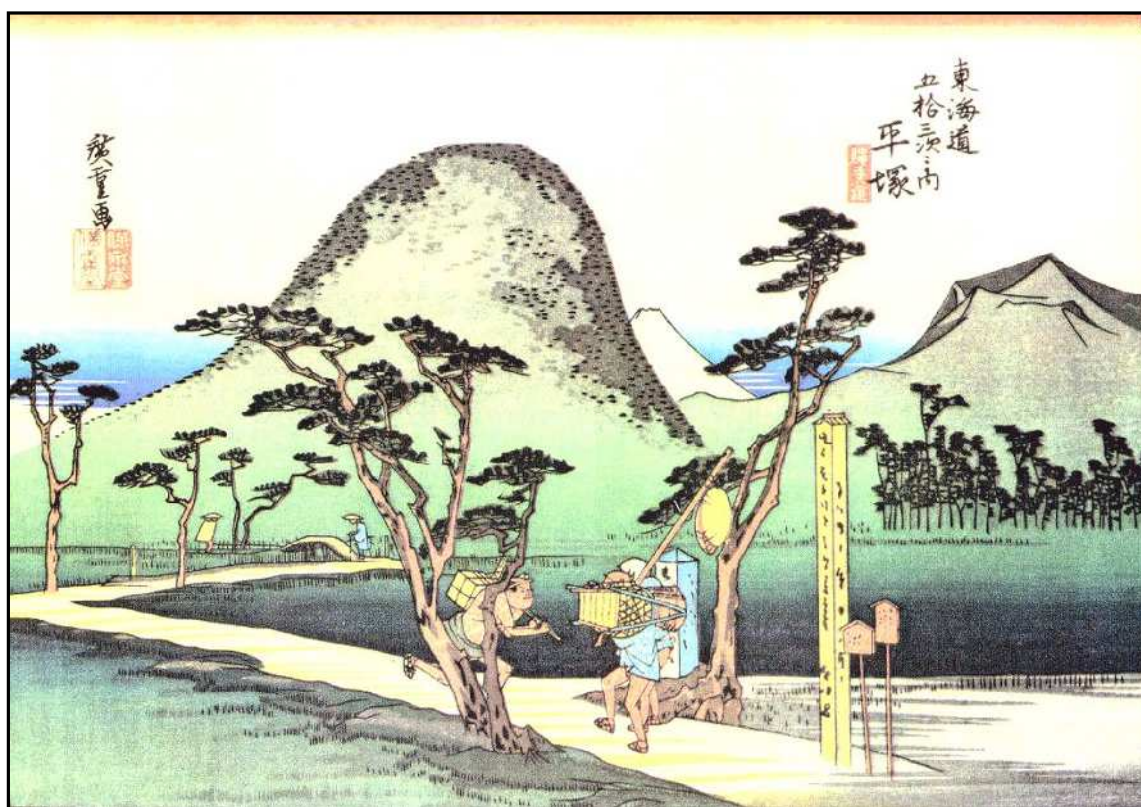


第72回市民総合体育大会



2024

主 催

平塚市教育委員会

主 管

平塚市スポーツ協会

後 援

平塚市体育振興連絡協議会

平塚市スポーツ推進委員協議会

西相地区高等学校体育連盟

目 次

大会開催要項	1
日程・会場	6
大会会場案内図	7
雨天時等による開催有無の決定について	8
大会役員	9
選手団役員	10
参加者数一覧表	11
総合開閉会式次第	12
令和6年度平塚市スポーツ功労者	13
正式種目(得点の対象になるもの)	
軟 式 野 球	15
バスケットボール	17
バレーボール	21
剣 道	23
ソフトボール	33
射 撃	35
ボウリング	37
ソフトテニス	39
バドミントン	41
卓 球	43
サ ッ カ ー	47
陸 上 競 技	49
テ ニ ス	63
ゲートボール	65
パークゴルフ	67
公開種目(得点の対象にならないもの)	
水 泳	69
空 手 道	73
弓 道	75
柔 道	77
昨年度種目別成績一覧表	78
各回における種目別優勝地区名表	79
過去の総合成績	80
総合得点表	81

第7 2回市民総合体育大会開催要項

- 1 趣 旨** スポーツを愛好する多くの市民にスポーツ活動の機会を提供し、スポーツを通じて健康明朗な心身の育成を図ると共に、地域住民相互の親睦を図り、あわせて市民のスポーツの祭典とする。
- 2 主 催** 平塚市教育委員会
- 3 主 管** 平塚市スポーツ協会
- 4 後 援** 平塚市体育振興連絡協議会・平塚市スポーツ推進委員協議会・西相地区高等学校体育連盟
- 5 期 日** 令和6年11月10日（日）、11月17日（日）
※正式種目のボウリング競技については、10月27日（日）、11月3日（日）に実施
※公開種目の射撃（個人戦 エアーライフル競技）については、11月9日（土）に実施
- 6 競技種目
及び会場** (1) 競技種目は、得点の対象となる正式種目と、得点の対象にならない公開種目とする。
(2) 競技種目及び会場は別紙のとおり。
- 7 競技方法** (1) 地区対抗競技(地区体育振興会単位)とする。
(2) 団体競技については、各地区1チームとする。ただし、チームを編成することが困難な地区は合併(2地区に限る)して出場できる。
(3) 本要項に規定されている条項以外は、実施細目及び各競技別規則による。
- 8 表 彰** (1) 総合優勝地区に優勝旗、優勝杯、準優勝地区に準優勝杯を授与する。
なお、総合成績6位までの地区に賞状を授与する。
(2) 各競技種目の優勝地区に優勝杯を授与する。
なお、3位（ブロック優勝の場合は2位）までに賞状を授与する。
(3) 個人競技は3位までに賞状を授与する。ただし、陸上・水泳は優勝者のみ賞状を授与する。
(4) 次の条件に該当する1地区に敢闘賞(賞状)を授与する。
ア 上位6位に入賞した地区を除き、前回大会との順位差が5位以上、上がった地区のうち最も順位差が大きい地区とする。なお、該当する地区が複数の場合は、総合成績が上位の地区とする。
イ 上記に該当する地区がない場合は、敢闘賞は授与しない。
- 9 順位の設定
及び順位点** (1) 総合順位は正式種目競技の順位点を合算し、その得点の多い地区から順次決める。
(2) 競技別順位点は、参加地区数により決める。
参加地区数24地区：1位24点、2位23点、以下順次1点差とする。
参加地区数20地区：1位20点、2位19点、以下順次1点差とする。
同位の場合はその得点を合算し、平均割とする。
(3) 雨天等により競技中止となったときは、2回戦以上行った場合はその時点で順位を分け

る。ただし、陸上競技は除く。

(4) 合併出場地区の得点は、順位得点を2分したものとする。

10 参加資格 (1) 選手は、参加申込み時に本市に住民票を有し、かつ居住する者で、住民票に記載された地区から出場すること。(地区体育振興会単位とする)

ただし、市外に居住する大学生、専門学生、大学院生については、「ふるさと枠」として父母又は保護者が居住している地区から出場できる。(団体競技は出場選手数の3分の1以下とする)

(2) 年齢要件は、別紙1「参加資格一覧表」参照。ただし、公開種目は各競技規則を参照。

(3) 小学生・中学生が参加する場合は、保護者の承諾を得た上で申し込むこと。

(4) 同日開催競技への参加は、1人1競技とする。

(5) 年齢計算は令和6年4月1日現在とする。

(6) 監督が選手を兼ねるときは、選手として規定人員内で申し込むこと。

11 参加申込 (1) 正式種目は各競技別申込書に必要事項を記入の上、各地区で取りまとめて申し込むこと。

(2) 公開種目は各競技別申込書に必要事項を記入のうえ、スポーツ課又は種目協会(連盟)へ申し込むこと。

(3) 申込期日 令和6年9月26日(木) 午後5時まで

※申込締切後は一切受け付けない。

12 代表者会議 (1) 期日 令和6年10月10日(木)

及び抽選会 抽選会 午後7時～ 代表者会議 午後7時30分～

場所 青少年会館集会室

13 注意事項 (1) 選手変更は競技(両日にまたがる競技については両日とも可)の開始前までに、チームの責任者が文書をもって届け出て許可を得ること。ただし、陸上競技については、当日の午前8時30分までに変更の手続きをすること。

(2) 選手の変更は、エントリー数の2分の1を超えないこと。ただし、射撃競技と剣道競技は2名、陸上競技は5名までの変更を認める。

※新型コロナウイルス感染拡大防止に起因し登録選手が出場できない場合は、上記の規定に加えて、選手変更を特別に認めるものとする。

(例) 20人登録した種目で、2名がコロナに起因して欠場となった場合

⇒ 10名(登録選手の1/2) + 2名(コロナに起因) = 12名まで選手変更を認める。

(3) 団体競技に無資格者があったときは、そのチームは失格とする。個人競技においては、その個人のみ失格とする。

(4) 各競技において無資格者が発見された場合は、発見時をもって失格とする。失格の取り扱いとは当該試合のみとし、以前の試合にはさかのぼらない。ただし、失格となったチーム及び失格者が出たチームには、順位点は与えられない。

(5) 出場チームのうち、同一の事業所及び学校(高校、大学)で選手登録数の半数までとす

る。

- (6) 各競技別申込書（団体競技）の職業等欄には、社会人・大学生・高校生・中学生等記入すること。
- (7) 無資格者に関する通報等については主催者、また、審判上の問題については、主管団体に対し、監督が明確な根拠をもって行うものとし、それ以外は一切認めない。
- (8) 異議申し立てに対して、事実関係を確認し、主催者及び主管団体で協議の上、無資格者に関することは主催者、審判上の問題は主管団体が決定する。
- (9) 異議申し立ては、当該試合終了前までとし、試合終了後は認めない。
- (10) 試合時刻に来ない者(チーム)は棄権とみなす。(各種目試合規定のとおり)
- (11) 参加選手は地区名を明記したゼッケンを付けること。
- (12) 選手宣誓の地区は、代表者会議に於いて抽選により決める。
- (13) 新型コロナウイルス感染症対策については、別紙2「新型コロナウイルス感染症に係わる注意事項」を確認すること。

以 上

第72回市民総合体育大会 参加資格一覧

小学生・中学生の参加については、保護者の承諾を得た上で申込むこと。

●正式種目（得点対象）

No.	競技	種 目	参加資格			備考
	No.		小学生	中学生	高校生以上	
1	①	軟 式 野 球			○	学生（高校生以上）は2名まで。 学生野球団体に登録している選手は除く。
2	②・③	バ ス ケ ッ ト ボ ー ル			○	
3	④・⑤	バ レ ー ボ ー ル			○	
4	⑥	剣 道			○	
5	⑦	ソ フ ト ボ ー ル			○	
6	⑧	射 撃			○	
7	⑨	ボ ウ リ ン グ		○	○	
8	⑩	ソ フ ト テ ニ ス		○	○	中学生は競技経験が1年以上の者とする。
9	⑪	バ ド ミ ン ト ン			○	
10	⑫	卓 球	○	○	○	
11	⑬	サ ッ カ ー			○	
12	⑭・⑮	陸 上 競 技		○	○	
13	⑯	テ ニ ス	○	○	○	
14	⑰	ゲ ー ト ボ ー ル			○	
15	⑱	パ ー ク ゴ ル フ			○	

別紙 2

新型コロナウイルス感染症に係わる注意事項

本ガイドラインは、大会全体の基本的な対策事項として定めたものであり、全ての競技に共通して本ガイドラインを遵守して大会を運営することとする。

なお、会場や競技の特性上、別途対策が必要な場合は、競技別実施要項において定めることとする。

Ⅰ 基本注意事項

(1) 大会参加に際して

発熱、咳、倦怠感などの風邪症状及び嗅覚味覚を感じない等の体調異常がある者は大会に参加しないこと。

(2) 感染した場合の出場可否について

- ・発症した翌日から5日を経過し、かつ、症状軽快後1日経過した場合は出場可能とする。
- ・無症状での感染が判明した場合、検査日の翌日から5日を経過した場合は出場可能とする。
- ・症状軽快後も選手の体力低下が懸念されるため、出場可否については、保護者とよく協議した上で判断すること。

(例：11月4日(月)発症の場合)

翌日11月5日(火)を1日目とし、11月10日(日)の6日目から出場可能)

11/4 (月)	5 (火)	6 (水)	7 (木)	8 (金)	9 (土)	10 (日)
コロナ発症	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目 症状軽快 療養期間終了	6日目 出場可能
	●					●

以 上

第72回市民総合体育大会の日程及び会場4/16時点

【10月27日（日）、11月3日（日）、11月10日（日）、11月17日（日）】

●正式種目（得点対象）

No.	競技	種 目					会 場
	No.		10/27	11/3	11/10	11/17	
1	①	軟 式 野 球			○	○	大神球場（B・C）、パティオバレイ相石スタジアムひらつか
2	②・③	バスケットボール			○		ひらつか サン・ライフアリーナ
3	④・⑤	バレーボール			○		トッケイセキュリティ平塚総合体育館（第1・第2体育室）
4	⑥	剣 道			○		トッケイセキュリティ平塚総合体育館（第2武道場）
5	⑦	ソフトボール			○	○	大神球場（F・G・H）（F・G）
6	⑧	射 撃			○		大井射撃場
7	⑨	ボウリング	○	○			神奈中平塚ボウル
8	⑩	ソフトテニス			○	予備日	軟式庭球場
9	⑪	バドミントン				○	ひらつか サン・ライフアリーナ
10	⑫	卓 球				○	トッケイセキュリティ平塚総合体育館（第1体育室）
11	⑬	サ ッ カ ー			○	○	馬入サッカー場
12	⑭・⑮	陸 上 競 技				○	レモンガススタジアム平塚
13	⑯	テ ニ ス			○	予備日	桃浜町庭球場・総合公園テニスコート
14	⑰	ゲートボール			○	予備日	四之宮ふれあい広場
15	⑱	パークゴルフ				○	木村植物園湘南ひらつかパークゴルフ場※予備日なし

●公開種目（得点対象外）

1	水 泳		○				トッケイセキュリティ平塚総合体育館プール
2	空 手 道					○	トッケイセキュリティ平塚総合体育館（第2武道場）
3	弓 道	○					トッケイセキュリティ平塚総合体育館（弓道場）
4	柔 道					○	トッケイセキュリティ平塚総合体育館（第1武道場）
5	剣道（個人戦）				○		トッケイセキュリティ平塚総合体育館（第2武道場）
6	※射撃（個人戦）				○		大井射撃場

※エアライフル競技（個人戦）については、11/9（土）に平塚エアライフル射撃場（熊山ビル4階）にて実施

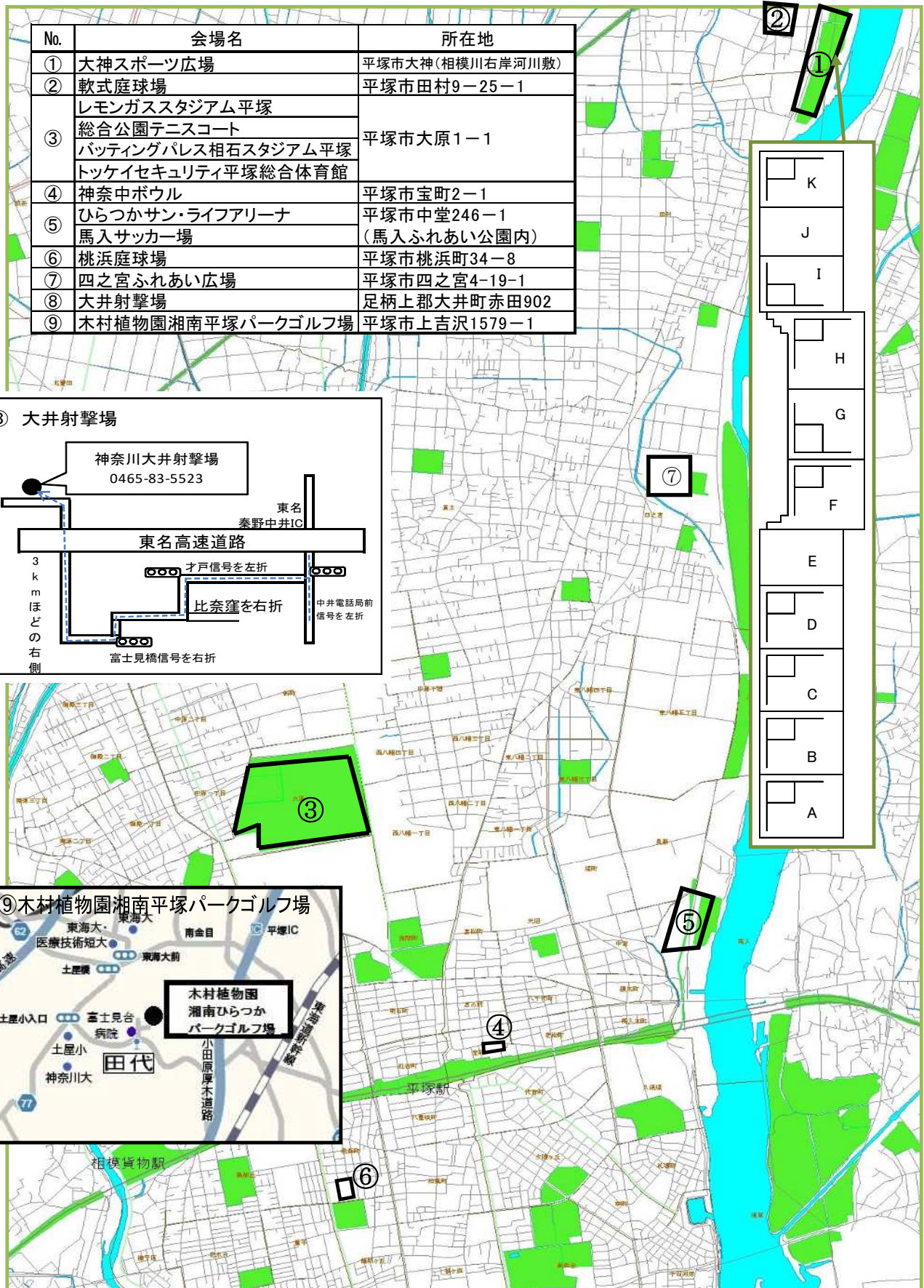
総合開会式：令和6年11月10日（日） 8：00～

トッケイセキュリティ平塚総合体育館（第1体育室）

総合閉会式：令和6年11月17日（日）16：00～（予定）

トッケイセキュリティ平塚総合体育館（第1体育室）

会場案内図



天候不順などによる開催有無の決定について

競技の開催について、天候不順などによる『開催』または『中止』の決定の連絡は、次のとおりです。

1 晴天の場合

① ウェブサイトによる周知

○平塚市ウェブサイト・ひらつかスポーツナビには掲載しません。

② 電話によるお問い合わせ

○電話でのご案内は行いません。

2 雨天の場合（中止の場合のみ掲載します）

※屋外での開催競技について、午前7時に開催の有無を決定します。

① ウェブサイトによる周知

○午前7時頃に平塚市ウェブサイトのトップページ「新着情報」に掲載します。

○午前7時頃にひらつかスポーツナビの「市からのお知らせ」に掲載します。

② 電話によるお問い合わせ

○午前7時から午前7時30分に「臨時携帯電話」にてご案内します。

★臨時携帯電話 ⇒ 電話：080-7760-2923（当日のみ）

★平塚市ウェブサイト ⇒ <https://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp>

★ひらつかスポーツナビ ⇒ <http://hiratsuka-sponavi.net/>

※下記の二次元コードから、トップページにアクセス可能です。



大会役員

名誉会長	落合 克宏					
会長	吉野 雅裕					
副会長	石川亜貴子					
名誉顧問	中田 勉					
顧問	坂間 正昭	出村 光	石田 美雪	菅野 和恵	大野かおり	
	増井 峰夫	小林 誠				
参与	陶山 正明	吉原さちえ	中田 勉	板東 誠二	傳田 實	
	鈴木登喜雄	高橋 篤	松本 靖史	工藤 直人	畔柳 豪	
	今村 佳広	石田 有信	小林みゆき	岩井美由紀	古尾谷香苗	
	中戸川康夫	原田香代子	河野 太郎	笠井 一栄	小泉一二三	
	奥山 晴治	赤井 則彦	高山 和彦	熊山 幸男	府川 正明	
	大野木進一	米村 和彦	勝又 敬夫	小宮 節子	田代千知子	
	片倉 章博	宮田 融	星加 悦高	梶井 亮	上原 清孝	
	真道 豊	新藤喜代子	山口 貞夫	清水 裕一	中山 正彦	
	廣瀬 誠	星野 光彦	飯野 保	伊藤喜美雄	金子 栄治	
	中村 宏行	畠中 直人	松下 明生	水島 稔	猪俣 友宏	
	阿知波衣里	上杉 充	松本 満	伊藤 宏	松川 成芳	
	佐藤昭四郎	山脇 克義	中野 文夫	鈴木 豊	中山 秀	
	根塚 公次	田中千勢子	金子 則昭	渡邊 兼行	川野 美輝	
	長谷川 寛	石川 潔	原田 茂	土谷 康夫	齋藤 明	
	佐藤 堯	高田 謙治	笹尾祐一郎	四宮 憲次	五味 良次	
	柴野 隆一	三田 信孝	松村 秀昭	新藤 政廣	見留 悦子	
	井上 勝博	鈴木 信之	小巻 伸治	廣瀬 久行	小林 卓見	
	鳥居 昌					
委員長	新倉 好人					
委員	武藤 直人	片山 好正	小島 章治	木村 新一	八田 厚生	
	林 孝之	坂田 幸三	高梨 昇	平野 友也	岡崎 肇	
	紅林 秀幸	高橋 幸宏	吉田 忠之	金子 理人	木村 弘子	
	山本 健太	金田 正勝	上野 公之	清水 正明	細渕 桂介	
	新倉 年子	秋澤 秀人	清田 純	横山 邦夫	下村 均	
	山本 昇平	田中壽美栄	土田 英忠	石川 行子	佐伯 啓介	
	山田 和紀	深田 安昭	大野 聡志	兒玉 聖和	伊藤 常春	
	鈴木 亮	石橋 隼	原田 美緒	堀内 小桃		

選 手 団 役 員

地 区 名	団 長	副 団 長	総 監 督	総 務	総 務	総 務	総 務	事務局長
崇 善	山口 貞夫	本田 幸三	成瀬 伸一	山口 聖	古木 茉吏	渡辺久美子	伊藤 友子	—
港	清水 裕一	小澤勢津子	江藤 清	佐藤真理子	森岡 隆介	渡邊 千秋	清田 宏明	田邊 克司
花 水	中山 正彦	貝瀬 清一	貝瀬 清一	塚田 和範	山口 弘子	小川 加奈	—	小川 加奈
松 原	廣瀬 誠	小幡 正幸	田畑 滋弘	畑中 健	津田 耕史	新井十三夫	小川 洋巨	原 邦彦
富 士 見	星野 光彦	阿久津徹也	長尾 共清	青嶋 俊憲	細谷 信子	野島 正直	越場 有加	村山 美明
神 田	飯野 保	田中壽美栄	小宮 伸一	田中 公一	大塚 敬三	瀧口 由江	松井みどり	土田 英忠
岡 崎	板東 誠二	高岡 康子	五十嵐康雄	秋山 英輝	大浦 順子	水上 隆行	飯塚 幹	市川 広行
金 目	伊藤喜美雄	柏木 秋広	青谷 智己	杉山 春司	—	—	—	河野 和一
中 原	金子 栄治	富永 渉	大木 康史	小林 和彦	高橋 千寿	中野名穂子	富田 洋一	恩田 円
豊 田	中村 宏行	宮田 綾	岩崎 正裕	松野 稔	村松 圭二	—	—	朽方 太一
金 田	畠中 直人	杉本 和	重田 昌巳	岩崎 節郎	柳 智美	前田 紀子	田中 潤	尾崎 安昭
城 島	池田 和英	新藤 政廣	松下 明生	黒木 昌明	山梨 亜紀	一杉 智史	嶋崎 翼	土屋 裕一
土 屋	水島 稔	内海 俊幸	関野 武	安池 義治	天野 隆司	遠藤 壽浩	内藤 ゆみ	鈴木 美幸
吉 沢	猪俣 友宏	熊沢 弘恵	佐藤 政良	猪俣 栄一	二宮 雄治	小多 洋	石井 正剛	小清水 豊
南 原	阿知波衣里	岩田 茂男	遠藤 年彦	鈴木 美樹	—	—	—	—
横 内	上杉 充	小笠原直己	府川 弘	伊澤 利男	—	—	—	小口 文江
なでしこ	松本 満	傳田 實	松本 満	大久保慎一郎	中川 早苗	山本 一幸	—	熊川 泰成
真 土	伊藤 宏	小鹿 園珠	山口 力也	重田 陽児	阿久津 勝	種村小百合	小山 真実	山口 耕治
四 之 宮	松川 成芳	榎 清則	相原 勝美	伊藤 優	池内 宣男	山地 礼子	人見 美絵	相原奈津代
八 幡	佐藤昭四郎	前田 俊隆	荒木 正真	高梨 昇	吉川 一郎	桑原 修	杉山 行正	加藤 良信
松 が 丘	山脇 克義	熊谷 俊二	城所 学	齋藤千枝子	蔭山みつよ	徳満すみえ	平原 誠一	二之宮智政
旭 南	澤野重次郎	廣瀬 久行	中野 文夫	須藤 量久	渡辺 博美	鈴木 晴雄	鈴木 智春	吉川 竜海
旭 北	伊川 直樹	小林 卓見	鈴木 豊	高橋 政己	岡山 智彦	渡邊 真司	佐藤 啓子	古園 裕子
大 神	中山 秀	伊藤喜代美	樋口 英光	杉浦佐智子	金子 厚子	竹之内 力	松尾 昭宏	高橋千賀子

第72回 市民総合体育大会種目別（団体戦） 参加者数

番 号	番 号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	合 計
	種目 地区	軟 式 野 球	バ ス ケ 男 子	バ ス ケ 女 子	バ レ ー 男 子	バ レ ー 女 子	剣 道	ソ フ ト ボ ー ル	射 撃	ボ ウ リ ン グ	ソ フ ト テ ニ ス	バ ド ミ ン ト ン	卓 球	サ ッ カ ー	陸 上 競 技 男 子	陸 上 競 技 女 子	テ ニ ス	ゲ ー ト ボ ー ル	パ ー ク ゴ ル フ	
1	崇 善	-	-	-	15	12	4	-	-	5	-	5	9	21	12	-	9	7	6	105
2	港	20	16	-	-	-	3	16	3	6	15	12	8	21	9	5	10	8	5	157
3	花 水	19	15	16	15	16	9	15	4	5	16	13	9	21	4	2	10	6	5	200
4	松 原	-	-	-	-	-	-	-	3	6	-	-	8	21	-	-	10	-	-	48
5	富士見	20	16	16	12	12	3	15	3	5	14	10	9	21	8	2	8	6	5	185
6	神 田	-	15	-	9	-	-	15	-	5	12	13	9	20	2	-	10	7	6	123
7	岡 崎	16	15	-	9	15	4	15	4	5	5	12	11	20	-	-	6	-	5	142
8	金 目	20	9	-	15	13	4	16	3	5	-	12	10	21	1	1	10	-	6	146
9	中 原	10	15	15	-	-	4	13	4	6	-	13	11	20	8	9	8	-	5	141
10	豊 田	20	-	-	-	1	-	16	3	6	-	-	-	21	-	-	-	6	6	79
11	金 田	14	16	15	16	15	3	15	-	5	11	13	11	21	3	-	10	6	6	180
12	城 島	-	-	-	-	14	-	15	-	5	10	-	-	20	11	-	-	6	5	86
13	土 屋	20	-	-	16	15	-	-	-	5	9	6	-	18	-	-	-	-	6	95
14	吉 沢	17	-	-	15	-	-	15	-	5	7	12	10	17	12	9	10	-	5	134
15	南 原	11	13	10	-	15	-	-	-	5	-	12	9	21	6	-	10	-	5	117
16	横 内	-	15	-	5	-	4	-	3	6	-	-	-	21	-	-	-	-	6	60
17	なでしこ	-	16	15	3	11	-	-	3	-	-	12	-	21	1	-	10	-	-	92
18	真 土	20	15	13	16	16	-	16	3	6	13	11	9	16	15	12	9	8	6	204
19	四之宮	19	15	16	11	15	-	16	3	5	8	13	8	21	13	1	10	8	5	187
20	八 幡	-	-	6	-	-	-	15	3	6	-	-	10	21	-	-	9	-	5	75
21	松が丘	20	-	5	-	-	-	-	-	6	13	-	11	21	-	-	-	-	6	82
22	旭 南	19	9	-	-	8	5	16	3	-	-	13	8	21	10	4	10	-	5	131
23	旭 北	19	16	16	15	12	3	16	3	5	11	12	10	20	16	11	9	7	5	206
24	大 神	-	-	-	-	-	-	-	3	5	14	13	-	-	3	2	10	6	5	61
合 計		284	216	143	172	190	46	245	51	118	158	207	170	466	134	58	178	81	119	3036
チーム数		16	15	10	12	14	11	16	16	22	12	17	18	23	17	11	19	12	22	

☆監督含む（但し、選手兼監督は選手としてカウント）

☆男女種目で監督が同じ場合は、男子種目にカウント

※バスケ（女子）は、八幡と松が丘が合同

※バレー（男子）は、花水となでしこ、神田と横内が合同

※バレー（女子）は、豊田と旭北が合同

※ソフトテニス、岡崎と城島、土屋と吉沢が合同

※バドミントンは、崇善と土屋が合同

総合開会式次第

令和6年11月10日（日） 午前8時

於 トッケイシティ平塚総合体育館

- 1 優勝杯・準優勝杯返還 前大会優勝 富士見地区
前大会準優勝 花水地区
- 2 レプリカ贈呈
- 3 あいさつ
- 4 来賓祝辞
- 5 選手宣誓 真土地区 代表選手
- 6 平塚市スポーツ功労者表彰 ※P13を参照

総合閉会式次第

令和6年11月17日（日） 午後4時頃

於 トッケイシティ平塚総合体育館

- 1 成績発表・表彰
- 2 あいさつ
- 3 来賓あいさつ

（大会本部） トッケイシティ平塚総合体育館A会議室

（総合公園体育館：電話35-2233）

（当日臨時携帯：080-7760-2923）

（大会速報） トッケイシティ平塚総合体育館エントランスホール中央入口前

令和6年度平塚市スポーツ功労者

No.	氏名	項目	功績	推薦者
1	モトウチ 本内 カツヒロ 克洋	1	1980年平塚水泳協会会員となる。 平塚市内事業所での水泳部立ち上げに尽力したほか、退職後も地域の水泳愛好者を集めチームを立ち上げ競技会に積極的に参加し、平塚市における水泳の普及・発展に貢献してきた。 競技者としては、1979年から2009年まで神奈川県実業団大会に連続出場している。 1985年から平塚水泳協会理事に就任するとともに、神奈川県総合体育大会から現在の市町村対抗戦である「かながわスポーツマスターズ水泳大会」において監督・選手として活躍している。 競技役員として2010年に競技役員審判員を取得し、現在はC級競技役員として、主に平塚水泳協会主催の競技会運営において中心的な役割を担い活躍している。 1999年から2020年まで20年にわたり、神奈川県水泳連盟の代議員の任に当たり、神奈川県の水泳普及・発展にも貢献してきた。 2019年神奈川県水泳連盟から永年功労賞の表彰を受けた。 2023年4月に平塚水泳協会副会長に就任し後進の指導に当たる等、長年にわたり当協会の発展に寄与している。 上記のとおり、永年にわたり平塚市及び神奈川県の水泳の普及・発展に多大なる貢献をしており、平塚市スポーツ功労者表彰候補者として推薦するものです。	平塚市スポーツ協会 会長 中田 勉
2	タシロ 田代 チジヨ 千知子	1	1979年(昭和54年)に平塚市バドミントン協会の理事として協会に参画し、その後1987年(昭和62年)に常任理事就任の後、1998年(平成10年)に副理事長、2016年(平成28年)副会長、2019年(平成31年)に現会長に就任しており、一貫して協会の発展と平塚市に於けるバドミントン競技の普及・拡大、若手人材の育成に大変尽力している。 また、平塚市スポーツ財団が行っている市民のスポーツ参加を目的とした「バドミントン教室」では1988年(昭和63年)の開始当初からコーチとして参画しており、現在は協会の受託業務として教室運営を行っている。 選手としては、バドミントン実業団リーグ(現在ではバドミントンS/リーグ)で活躍した後、全国シニアバドミントン大会では平成12年から15年までの4年連続全国優勝するなど輝かしい戦績を残している他、神奈川県総合体育大会では平塚市代表選手・監督として活躍し、現在は神奈川県年齢別バドミントン大会では監督・選手として若手選手の目標となっている。	平塚市スポーツ協会 会長 中田 勉
3	シミズ 清水 ミヅイ 裕一	1	平成20年に港地区体育振興会(以下 港体振)に入会。 “港地区住民の体育の振興と普及を図り健康で明るい地域社会づくりをめざす”をモットーに港地区の体育振興に活躍している。 入会と同時に書記を、平成30年度より会長の職を歴任、自治会及び地域諸団体と連携し、地域の発展に寄与している。 市民総合体育大会では、全競技種目エントリー、市内駅伝競走大会では毎年度出場を目指し、地域の振興及び交流にも尽力している。また、幅広い年齢層で親しめる囲碁ボールやボッチャの普及に努めている。 地区の行事・イベントについても港体振として積極的に参加し、地域住民の親睦を図っている。 令和6年度より平塚市体育振興連絡協議会の監査となり、本部役員として体育振興の発展に努めている。	平塚市体育振興連絡協議会 会長 板東 誠二
4	サトウ 佐藤 ショウシロウ 昭四郎	1	平成6年に八幡地区体育振興会(以下 八幡体振)に入会。 “八幡地区住民の体育の振興と普及を図り健康で明るい地域社会づくりをめざす”をモットーに八幡地区の体育振興に活動している。 平成28年度より副事務局、平成30年度より会長の職を歴任、自治会及び地域諸団体と連携し、地域の発展に寄与している。 市民総合体育大会では、競技種目エントリー、市内駅伝競走大会にも出場を目指し、地域の振興及び交流にも尽力している。 地区の行事・イベント(3月:公民館まつり、5月:子供大会、7月:子供神輿、8月:盆踊り、10月:八幡小学校ふれあいフェスティバル、毎月第1・3木曜日:囲碁ボール)についても八幡体振として積極的に参加し、地域住民の親睦を図っている。 令和6年度より平塚市体育振興連絡協議会の会計となり、本部役員として体育振興の発展に努めている。	平塚市体育振興連絡協議会 会長 板東 誠二
5	ツチダ 土田 ヒデタダ 英忠	1	平成20年4月1日、神田地区体育振興会より推薦され、平塚市スポーツ推進委員協議会に委嘱される。協議会では、年間を通して市内内外の様々なスポーツ活動やイベントに尽力し、現在に至る。 平成28年4月1日より本部役員に就任し、研修副部長、会計監査、会計、副会長を歴任し、当協議会の中心的な役割を担い協議会発展に貢献している。 神田地区体育振興会においては、平成18年4月1日より活動を始め、その後、会計、事務局長を担当し地区体育振興の発展に寄与している。 神奈川県スポーツ推進委員連合会においては、令和6年度より研修部会に所属し活躍中。 平成29年に神奈川県スポーツ推進委員連合会より功労者表彰をうける。	平塚市スポーツ推進委員協議会 会長 傳田 實
6	タカハシ 高橋 ユウコ 優子	1	岡崎地区小学生の岡崎メイツのサポートを約10年間。 17年間平塚市中学軟式野球連盟の会計として従事。 当連盟の春・秋の大会運営及び平塚市少年野球大会の運営においても大会役員として協力しております。 20年前の市制70周年の時の名球会においても協力しております。	平塚市中学軟式野球連盟 会長 柿崎 芳規